

## 第4講 OSを知る・画像加工ソフトを使う

【前回の図の出典とリンク（未掲載分）】

Wikipedia - 画面サイズ <https://ja.wikipedia.org/wiki/画面サイズ>

ディスプレイのサイズと縦横比（図の下 Size of this PNG preview of this SVG file:から数字をクリック）

[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Vector\\_Video\\_Standards2.svg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Vector_Video_Standards2.svg)

映画フィルムと撮像センサーのサイズと縦横比（2番目の図。図をクリックすると拡大図が表示される）

<http://cgcompo.blog134.fc2.com/blog-entry-33.html>

写真フィルムのフォーマット（図は拡大可能）

<http://www.activestudio.net/ginen/filmsize/>

フィルムの大きさの比較（ストリップフィルムはスリーブとも呼ぶ）

[http://www.epson.jp/products/scanner/gtx980/feature\\_2.htm](http://www.epson.jp/products/scanner/gtx980/feature_2.htm)

### 1. OSと機器を知る

#### 1) スタートから

スタート>PC設定>ディスプレイ>解像度

>ディスク領域

>PC情報

>コントロールパネル

#### 2) ツリー表示

マイドキュメントをダブルクリック>表示>ナビゲーションウィンドウ>

開いているフォルダーまで展開→チェック ツリー表示される

左端のナビゲーションウィンドウはフォルダの左の三角をクリックすると、

フォルダが開いたり閉じたりする

#### 3) フォルダ表示の設定

マイドキュメントをダブルクリック>表示>ナビゲーションウィンドウ>

すべてのフォルダーを表示→チェック

マイドキュメントをダブルクリック>表示>オプション>全般>ナビゲーションウィンドウ>

すべてのフォルダーを表示する→チェック

お気に入りを表示する→チェック

\*優先する／全体を支配する設定なのか、相互に互換可能なのか、わかりにくいので注意

#### 3) コンピュータから

ダブルクリック>表示>オプション>表示>ファイルとフォルダーの表示>

隠しファイル、隠しフォルダー、または隠しドライブを表示する→チェック>適用

\*「表示」が異なる階層で現れて、異なる意味で用いられている→悪い日本語の使用例

\*\* 2) も 3) も「エクスプローラー」というファイル管理ソフトを設定しているので、全体に適用される

## 2. webpage の画像をダウンロード (→命令) して見る

1) 目的の画像をデスクトップにドラッグ (→動作)

2) 目的の画像を右クリック>名前を付けて画像を保存 この時にフォルダを決めておく

必要に応じて「新しいフォルダー」を作成

ダブルクリックすると「Windows フォトビューアー」で開く

フォトビューアーのメニューバー>開く>ペイント で ペイントで開く

>開く>フォト で フォトで開く

\*間違えたら Ctrl+Z でひとつ戻る

## 3. ペイントを使う

1) データの保護

最初に目的の画像ファイルをコピーしておく

名前の与え方に注意する

2) 保存可能ファイル形式

扱えるファイルはラスターデータ。JPEGの品質調整はできない

JPEG、BMP、GIF、TIFF、PNG

ためしにJPG画像をGIFで保存して、それを開いて拡大して確かめる

BMPの色数の違いもやってみる

## 4. PDFから画像を取り出す

1) PDF内のラスターデータを抽出するCubePDF ImagePicker

CubePDF ImagePickerをダブルクリック>デスクトップにアプリケーションイメージが表示される>目的のファイルをドラッグ>プレビュー>全て保存>フォルダの選択

4) 手動でPDFから画像を取り出す

画像部分を選択>右クリック>コピー>ワードに貼り付け

# 第5講 ワードとエクセルを使いこなす

## 1. ワード

1) レイアウトの設定

用紙の設定 ページレイアウト>余白>ユーザー設定の余白>ページ設定>用紙>用紙サイズ>用紙を選択

余白の設定 ページレイアウト>余白>ユーザー設定の余白>ページ設定>余白>任意の数字を入力

行数の設定 ページレイアウト>余白>ユーザー設定の余白>文字数と行数>

文字数と行数の指定>行数だけを指定する>行数>任意の数字を入力

文字数の設定 (1行の) ページレイアウト>余白>ユーザー設定の余白>文字数と行数>

文字数と行数の指定>文字数と行数を指定する>文字数>任意の数字を入力

\*字送り／行送りで指定することも可能

## 2) テキストの設定

行間の微調整

必要行をダブルクリック>フォントサイズを入力>行と段落の設定>行間のオプション>

1行の文字数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる>チェックを外す

タブの設定(段落ごと) 表示>ルーラーにチェック>設定場所を決めルーラーの下をクリック

インデントの設定(段落ごと) 表示>ルーラーにチェック>本文の必要範囲を選択>インデントをスライド

\*タブやインデントとスペースは異なる

和文欧文が混じった文書の文字間の調整

文書を選択>右クリック>段落>体裁>文字幅と間隔>日本と英字の間隔を自動調整する>チェック/外す

## 3) データをきれいに(読みやすいレイアウトとは異なる話)

半角と全角の統一あるいは使い分け

ハイフンと長音記号とダッシュの統一あるいは使い分け

テキストデータに影響する文字揃えは使わない

「佐藤」と「佐 藤」は別の文字列。「佐 藤」は「佐藤」で検索できない。

きれいなデータはファイル名まで含めて考える

\*1234のファイルを作ってみる

## 4) 画像の設定

サイズの変更 ドラッグでも可能だが、ミリ単位で揃えるときは数値で設定する

画像を右クリック>レイアウトの詳細設定>高さ/幅/倍率を調整

位置の調整

画像を右クリック>文字列の折り返し>前面>マウスでドラッグして場所を決める

画像を右クリック>レイアウトの詳細設定>位置>文字列と一緒に移動する>チェックを外す

Windowsのコマンドは古いソフトからの移植のため、新旧のインターフェイスが入り交じって、回り道することがある

## 5) PDFをつくる/PDFから画像を取り出す

### (1) ワードから

ファイル>名前を付けて保存>フォルダの選択>ファイルの種類>PDF (\*.pdf)>適切なファイル名を与える

ただし、ラスタデータをpdfに変換してもラスタのまま

### (2) CubePDFを使う

メモ帳やペイントからPDFは直接は作れない

ファイル>印刷>プリンターの選択>CubePDF>出力ファイル>…>フォルダ選択>ファイル名記入>保存>変換

\*拡張子に注意 ファイル形式とファイル名の拡張子を別々に指定できるのは最近のOSの欠陥

## 2. エクセル

### 1) エクセルはテキストデータ

XLS, XLSX, SLK, CSV, TXT すべてテキストデータ

Enterは改行=ひとつ下にセルに移動

Tabは改列=ひとつ右にセルに移動

テキストデータはエディタと完全互換

### 2) テキストデータを開く

ワードファイルを開いてみる

1 2 3 4 ファイルを開いてみる。

その前に右クリック>プロパティを見てみる

\*もしファイルから開くとすると…

右クリック>プログラムから開く>既定のプログラムの選択>

「すべての.txt ファイルをこのアプリで開く」のチェックを外す>その他オプション>

このPCで別のアプリを探す となって大変面倒なので、エクセルから開きます

ファイル>開く>コンピュータ>ドキュメント>右下の「すべての Excel ファイル」を「すべてのファイル」

>目的のファイルをクリック>開く ウィザードが開くので、順に「次へ」をクリック

ウィザード2/3で 区切り文字 の スペース をチェックしたり外したりしてみる

エクセルで検索 ホーム>リボン右端の「検索と選択」>検索 \*なのに開いたウィンドは「検索と置換」

あるいはコピー&ペーストしてみる。ファイルから開いた場合と、少し違っている。何が違う？

\*なぜかマイドキュメントでもMyDocumentでもなく「ドキュメント」 こんなレポートを書いたらダメ

「更新日時」をクリックすれば、新しい/古い順に整理される。名前や種類をクリックしても同様。

\*おなじフォルダを「マイドキュメント」と「My Document」と異なる表記をするのは悪い用法

### 2) セルは使いやすいように設計する

計は合計のみ

小計が必要なら列(カラム)を変える

結合セルはできるだけ作らない

### 3) 罫線

縦罫線は使わない

### 4) グラフ